



都 筑

令和7年10月31日
横浜市立都筑小学校
校長 大賀 教晶

学校HP <http://www.edu.city.yokohama.lg.jp/school/es/tsuzuki/>

「学ぼう つながろう やりとげる 都筑の子」

誰もが全力で楽しめる最高の運動会にしよう

校長 大賀 教晶



校庭のキンモクセイが香り豊かな花を咲かせています。朝晩は寒いくらいの気候となり、秋の深まりを感じる頃になりました。学校では10月18日に晴天の下、運動会を開催し、どの学年もすばらしい演技を披露することができました。本番での真剣な様子、終わった後の満足した表情から子どもたちが運動会を楽しんでいたのを感じました。その中でも今年度から5・6年生の演技を合同で行うようにしました。6年生が昨年度の経験を活かし、5年生に伝え、一緒につくりあげることが今年度の1番の目標でした。担任の先生と一緒に、6年生が思いを込めて演技の練習に取り組んでいました。6年生の真剣さに導かれるように、5年生の演技もよくなっていきました。また演技中に5年生は学級の旗、6年生は学年の旗を掲げることにしました。また6年生は運動会前に昨年度の経験を活かし大漁旗をつくりました。デザインを学年全体に募集し、メインとなるすばらしいデザインが選ばれました。さらに実行委員が中心となり、ほかの候補の中の良いところを活かし、都筑小のシンボルである竹と桜を入れ、波のデザインを青海波に変え、多くの子どもたちが一緒に休み時間を使って大きな旗に描きました。学級だけでなく、同学年、異学年ともお互いの力を合わせ、協力し合う姿が当日までもたくさん見られました。

個人種目である徒競走は学年によって距離が異なります。ブロックごとの競技は赤白の対戦ということで、勝ち負けにこだわり、玉入れ、台風の目、綱引きと全力の勝負をしていました。リレーを含めた団体競技と個人種目の各種目の合計の得点は赤と白は10点差でした。団体競技の順位が一つでも違えば、2年連続で同点優勝となる所でしたが、わずかに赤組が優勝しました。得点発表で負けたことが悔しくて、泣き出してしまいました子どももいました。それは力いっぱい取り組んだ気持ちの表れだったのだと思います。スローガンの通り、演技も競技も全力で楽しんだ都筑小の子どもたちの姿に感動させられる1日でした。

個人種目である徒競走は学年によって距離が異なります。ブロックごとの競技は赤白の対戦ということで、勝ち負けにこだわり、玉入れ、台風の目、綱引きと全力の勝負をしていました。リレーを含めた団体競技と個人種目の各種目の合計の得点は赤と白は10点差でした。団体競技の順位が一つでも違えば、2年連続で同点優勝となる所でしたが、わずかに赤組が優勝しました。得点発表で負けたことが悔しくて、泣き出してしまいました子どももいました。それは力いっぱい取り組んだ気持ちの表れだったのだと思います。スローガンの通り、演技も競技も全力で楽しんだ都筑小の子どもたちの姿に感動させられる1日でした。

当日は地域のみなさま、学校や関係機関のみなさま、保護者のみなさまがたくさん来校していただき、子どもたちへの声援を送ってくださりありがとうございました。やはり多くの声援があって、全校で行える運動会は子どもたちにとっても大きな成長の機会です。来年以降も子どもたちの成長につながる運動会となるよう、アンケートの結果といただいたご意見を参考に改善していきます。

令和7年度運動会アンケート結果（10月18日～29日集計 回収率61.3%）

	よくあてはまる	あてはまる	あまりあてはまらない	あてはまらない
Q1学年の発達段階に応じ、子どもたちが進んで生き生きと活動する姿が見られた	64.6%	33.3%	1.7%	0.3%
Q2学級や学年等の友達と協力したり声をかけあったりして活動する様子が見られた	55.2%	40.6%	3.8%	0.3%
Q3運動場や学校敷地内の環境が整えられていた	57.3%	40.3%	2.4%	0%
Q4参観者の方々のマナーが守られ、気持ちよく参観できた	48.3%	45.8%	5.9%	0%

